

サンフランシスコ発 世界150 か所以上で開催。
大人から子どもまで楽しめる世界最大のDIY イベント

Maker Faire Tokyo 2016

出展者・協賛企業募集開始！

2016 年8 月6 日（土）、7 日（日）お台場・東京ビッグサイト

株式会社オライリー・ジャパン（本社：東京都新宿区）は、「Maker Faire Tokyo 2016」を、2016 年8 月6 日（土）、7 日（日）の2 日間、東京・お台場の東京ビッグサイトに開催することを発表し、出展者、協賛企業の募集を4 月7 日（木）から開始いたしました。

オライリー・ジャパンは、2006年より雑誌「Make」日本語版を発行し、2008 年からエレクトロニクス（電子工作）、DIY、サイエンス、ロボット、アートなど異なるジャンルの「Maker」（作り手）たちの発表の場、交流の場である「Maker Faire Tokyo」（前身「Make: Tokyo Meeting」）をつくってまいりました。2015 年8 月に行われた「Maker Faire Tokyo 2015」は、350 組の出展者、14,500 名の来場者を迎え、盛況のうちに終了。本イベントには、テクノロジーを自由な発想で使いこなす「Maker」とその作品が多数集合。国内外の最新技術に触れられる貴重な機会を提供するとともに、モノを作ることの未来を提示します。また今回よりSTEM/STEAM教育に関する日本での関心の高まりと、さまざまな新しい教育ツールの登場を受けて、「教育エリア」が新設されます。

□ 出展の申し込みについて

エレクトロニクス、ロボット、デジタルファブリケーション（3Dプリンター、レーザーカッターなど）、教育／キッズ、クラフト、アート／デザイン、VR、宇宙／航空／ドローン、バイオ／農業、Young Makers（学生出展）など約400 組の出展を予定しており、ウェブサイトの応募フォームより申し込みが可能です。

ウェブサイト: <http://makezine.jp/event/mft2016>

展示・デモ / プレゼンテーション / ワークショップ / ハンズオン（ミニワークショップ）

モノを作るための素材、部品、道具 モノを作るためのソフトウェア、サービスなど自作の作品であれば、ジャンルは問いません。締め切りは5 月9 日（月）。選考結果の発表は5 月31 日（火）までに出展の可否をメールにてお知らせします。詳細はウェブサイトをご覧ください。

「Maker Challenge powered by MESH」について

また、ソニーの新規事業創出プログラムから生まれたMESHプロジェクトと共同で、日本のMakerの裾野を広げるためのコンテストを開催します。本コンテストでは「あったらいいな」をカタチにできる電子タグ「MESH（メッシュ）」を使った作品を応募し、最優秀賞、優秀賞の受賞者は、Maker Faire Tokyo 2016の「Maker Challenge」ブースへの出展が可能です。詳細は <http://recipe.meshprj.com/jp/contest/maker-challenge-2016>

□ 実施概要

名称：Maker Faire Tokyo 2016（略称：MFT2016）

会期：2016年8月6日（土）12:00～19:00、8月7日（日）10:00～18:00（予定）

会場：お台場・東京ビッグサイト（東京国際展示場）西2ホール＋アトリウム

主催：株式会社オライリー・ジャパン

入場料：＜前売＞ 大人 1,000円、18歳以下 500円（税込）＜当日＞ 大人 1,500円、18歳以下 700円（税込）*小学校未就学者、障がい者手帳所持者は本人及び付き添いの方お一人まで無料

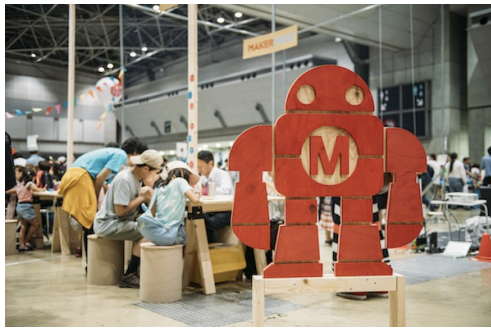
ウェブサイト： <http://makezine.jp/event/mft2016>

■ 記事掲載に関するお問い合わせ

株式会社オライリー・ジャパン 広報担当: 大西（pr@makejapan.org）

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町12-22 VORT四谷坂町ビル1F

TEL: 03-3356-5227 FAX: 03-3356-5261



発明と創造のお祭り、Maker Faire

Maker Faireは、地上最大の（DIYの）展示発表会です。家族で楽しめる、発明と創造と役に立つ情報がいっぱいの展示会であり、**Makerムーブメントのお祭り**です。そこは人々が自分で作った物を見せ合う場所であり、自分が学んだことをシェアする場所でもあります。出展するMakerは、技術愛好家、クラフト作家、農家、科学者、ガレージの機械いじり愛好家など多岐にわたり、年齢も経歴もまちまちです。Maker Faireの使命は、このコミュニティを、楽しませ、情報を提供し、結びつけ、より大きくすることにあります。

日本でもひろがり増殖するMakerたち

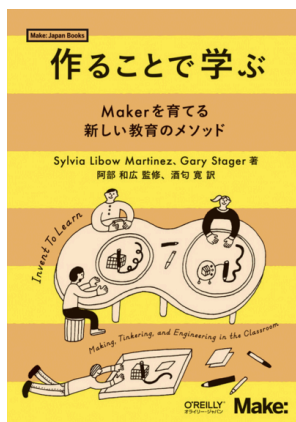
日本でも2008年からはじまった前身Make Tokyo Meeting (MTM) から数えると12回目、2015年8月に行われた「Maker Faire Tokyo 2015」は、350組の出展者、14,500名の来場者を迎え、3Dプリンター、ドローン、DIY農業などMakerワードの社会的な浸透とともに規模も拡大しています。「Maker Faire Tokyo 2015」では、夏休み期間でもあり、ご家族でのご来場が増えたことにより**3Dプリンターの実演や工作やハンダ付け体験のワークショップ**など未来のMakerを育てるための**MAKERSPACE**が大好評。また、Maker Faireやハッカソンで出会った人同士のチームや企業内外の有志グループなどの出展が増え、日本の中でもMakerの有機的なつながりも増殖しています。



自由な発想でテクノロジーを使いこなすMakerのための「Make」

「Make」は、アメリカ発のテクノロジー系DIY工作専門雑誌として2005年に誕生しました。自宅の庭や地下室やガレージで、びっくりするようなものを作っている才能あふれる人たちのコミュニティが、どんどん大きくなっています。「Make」は、そうしたコミュニティ同士を結びつけ、刺激と情報と娯楽を与えることを目的としています。「Make」は、すべての人が思いのままに、あらゆるテクノロジーを遊び、いじくり、改造する権利を称賛します。「Make」の読者は、自分自身、環境、教育——私たちの世界全体をよりよいものにするための文化、コミュニティとして成長を続けています。それは、雑誌の読者という枠を超え、全世界的なムーブメントになりました。私たちはそれを「**Makerムーブメント**」と呼んでいます。Makerムーブメントの全世界的な勢いは高まりつつあり、2015年にはMaker FaireとMini Maker Faireの開催地が全世界150か所を越え、合計約120万人以上の方が参加しています。

←Make: Technology on Your Time Volume 12 オライリー・ジャパン編 定価1,620円



作ることを楽しみ学ぶ、イノベーションのための文化を育てる

Makerムーブメントを可能にした背景としてよく挙げられるのは、**Arduino**や**3Dプリンター**などの新しいツールの登場と、**ウェブ**を通じたユーザー同士の情報共有ですが、それ以外に文化的な背景も存在するようです。失敗を否定しないことや、**完成度や正しいやり方（＝他人の目）を気にせず、自分の作りたいモノをとにかく形にしてみる**という米国のDIY文化が持っている優れた伝統も合わせて紹介することで、Makerムーブメントを単なるブームではなく、関わる方々の深いところに影響を及ぼすようなムーブメントにするお手伝いができればと考えています。

Maker Faire Tokyo

□ 前回の様子

